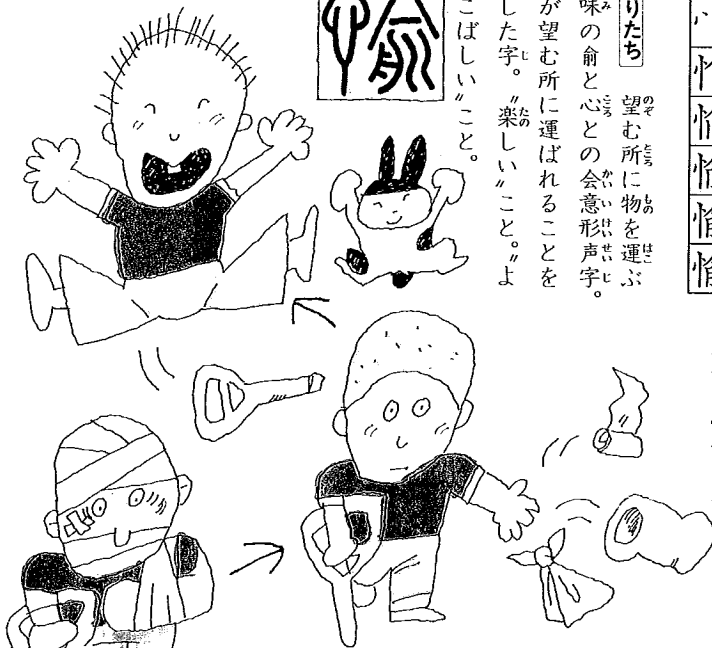


愉

おん ユ

12画
ハ 心 愉 愉 愉 愉

【なりたち】望む所に物を運び、意味の俞と心の会意形声字。心が望む所に運ばれることを表した字。「楽しいこと。よろこばしいこと。」



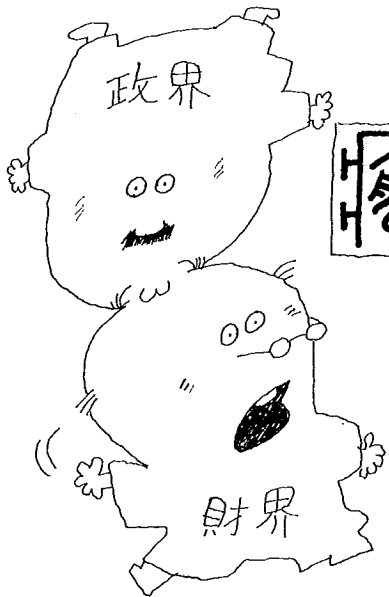
【いみじゆく】
▼たのしい。たのしむ。
愉快：楽しくて気持ちが良いこと。
愉悦：喜び楽しむこと。【用例】
非常な愉悦を感じる。

癒

おん ユ

18画
一 疒 疒 疒 疒 疒 癒

【なりたち】愉と病気の意味の疒との会意形声字。病人が楽しい状態に運ばれるという意味の字で、「病気がなおる」ことを表した字。「病気がいえる」こと。



【いみじゆく】
▼いえる。いやす。
治愈：病気が治ること。【用例】
人のからだには自然の治愈能力がある。
平癒：病気が治って、ふだんの健康に戻るこ。

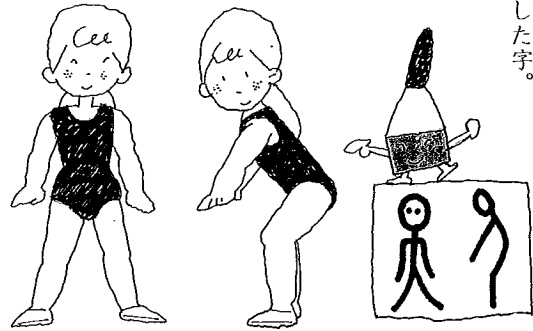
愉癒

人

おん ジン・ニン
ひと

7画
ノ 人

【なりたち】人の立っている形を表した象形字。「ひと」を表した字。



【いみじゆく】

【ひと】
人生：①人がこの世に生きていくこと。人間の生活。【用例】
人生模様②人の一生。
人道：人間として守らなければならぬ道徳。
人格：①ひとがら。【用例】人格者（ひとがらがすぐれた人。）

②義務や責任を自覚できる一人前の資格。【用例】人格を認める。

▼職業・国籍・人種をいうとくにつける言葉。【用例】経済人・英国人・黒人

▼人数をかぞえる時に使う語。【用例】三人

【よみかた】人員・人口・人種・人望・人形・人情・人相・人垣・悪人・詩人・旅人

【さんこう】特別なよみかた↓
大人・玄人・素人・仲人・一人・二人・若人

仁

おん ジン・ニ

4画
ノ イ 仁

【なりたち】人二人という意味の、人二とこの会意形声字。人の人に対する「親愛の情」を表したものの、思いやりの情・情け深い心。孔子は仁を諸徳の最高に置いた。



【いみじゆく】

▼おもいやり。いつくしみの心。
仁愛：めぐみ、いつくしむこと。【用例】仁愛の心。
仁慈：いつくしみとめぐみ。
仁君：情け深い君主。
仁者：人々をいつくしむ心を持つた人。

仁術：仁を行う方法。【用例】医者は仁術。
仁王：仏法を護持する神として寺の門などに左右一対に置かれた金剛力士像。

【よみかた】一視同仁 仁義・仁心・仁政・

人仁